

市民の声に耳を傾け課題解決へ ～5つの重点政策で住みやすいまちを目指す～



◆プロフィール◆

須藤 豊次(すどう・とよじ) 1958年11月16日生まれの67歳。明治大学公共政策大学院修了。2002年より下妻市議会議員に就任。26年1月まで勤め、同年3月の市長選挙にて初当選となった。趣味は旅行、ゴルフ。旅行は議員仲間と海外へ足をのばすこともあったという。

砂沼跡地を賑わい拠点に

このたび、3月の市長選で初当選を果たした須藤豊次市長。砂沼サンビーチ跡地の活用や市民文化会館の改修など、あらゆる課題の解決に取り組むべく、市民の声に耳を傾ける。市議会議員として20年以上務めた経験を活かし、下妻市のポテンシャルを最大限に引き出すような施策を提案する。「賑わいと活力の創出」など、5本の柱を重点政策とし、市政に取り組み須藤市長の思いやまちづくりのビジョンを聞いた。

◆市政は5本の柱を中心に
多くの支持をいただき当選させていただいたことに、身の引き締まる思い。市政で重視するのは「子育て・教育・福祉の充実」「自然と都市が共生する快適なまち」「人と文化を育むまちの再生」「賑わいと活力の創出」「災害に強い安全なまち」、これら5本の柱。市民の声に耳を傾け、住みやすいまちを目指せば、

県内外の人々から「下妻市に住んでみたい」と思っていたら、そんなまちづくりを進められるように、これからの4年間を歩んでいきたい。移住定住の促進や空き家対策などにも力を入れていく。

◆再び賑わいの拠点に
砂沼サンビーチ跡地の活用については、県と協議をしながら、賑わいの拠点としての復活を目指せれば。市民が主役となるような場所として、また防災拠点としての利用も視野に入れ協議する。既存施設の解体についても、県とともに方針を定めていく。

また、下妻公民館も空調、消防施設、電気などが市民文化会館と一体になっていくので、両施設を共に調査していく。他にも市

文化会館は早期改修・再開

かつては年間20万人以上の方が訪れていた、市のシンボルのような場所だったため、観光・誘客の拠点として再び活用できれば、

砂沼周辺では、春には桜が咲き、夏には花火もあがる。まちのメインの拠点として、市民の憩いの場を目指していきたい。

◆老朽化する公共施設等
市内の公共施設については、まずは市民文化会館の改修工事を優先的に進めていく。早期の利用再開を望む市民の声も多いので、必要最小限の改修を目指す。改修に向けた調査は本年度補正で予算を確保し、計画的に改修工事を進めることも施設利用が再開できるように努めていきたい。

また、下妻公民館も空調、消防施設、電気などが市民文化会館と一体になっていくので、両施設を共に調査していく。他にも市



▲市民文化会館改修に向け、まずは調査を進める



▲砂沼サンビーチ跡地は県と協議し方針を定めていく

あり、全体的に老朽化が進んでいる。今後、大規模改修を含めた施設の在り方の検討が必要になると思う。まずは、今の指定管理運営の範囲内で行うことができれば、

2024年に指定管理者が変更になり、経営の見直しなどが図られ、水害の後やコロナ禍等の時期に比べて利用者数も持ち直している。温泉や地元の特産品など、市の様々な魅力が味わえる施設なので、賑わいの拠点としての活性化も今後の課題として捉えている。

◆災害に強いまちづくり
防災・減災による安心安全なまちづくりを進めていく。インフラ整備の面では道路、橋梁などの強靱化を図っていく必要がある。橋梁も老朽化が進み、修繕が必要などところどころある。点検などの結果も考慮し、順次着手したい。

◆新たな誘客・交流拠点
新たに竣工した「しもつま中央工業団地」の緑地・調整池の活用については、現在、施設の具体的な内容を定める基本計画を策定する段階にある。立地企業と連携して進める事業なので、企業側にも話を聞き、施設の規模など詳細な部分についても協議しながら進めていく。市民をはじめ、多くの方々の憩いの場となる魅力ある拠点整備を目指していきたい。

◆公共交通にAI導入検討
市内の交通インフラ整備については、現在シモンちゃんバス、広域連携バスなどが市内を走っている。建設業は、市内のインフラ整備など、まちづくりを進めるうえで欠かせない存在。地場産業の育成という観点から、基本的に地元の仕事は地元企業が受注しやすいような環境を整えていきたい。

◆地元の仕事は地元企業へ
市内の建設業者の方々は、災害時や降雪時には非常に助けをいただいている。災害時の協定なども結んでおり、とても心強い。これからは緊急時には手をお貸しいただければと思います。

これはならない。学校の適正配置は基本計画がまとまっている段階。用年数が過ぎているものが

地域の守り手として使命を果たし、市政発展に貢献します

下妻市千代川建設業協会

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 会長 中川原 勇[石塚産業(株)] | 理事 青柳 静男[青柳建設(株)] |
| 副会長 横関 順一[横関建設(株)] | 監事 荒川 博[株]アラ川 |
| 理事 青柳 晴男[株]青柳工務店 | 監事 柴 信一[旭建設工業(株)] |
- 青柳建設(株) 石塚産業(株) (有)桜井企業 のだや建設(株)
 (株)青柳工務店 (有)内田建設 (有)蘭部組 フジクラフト(株)
 旭建設工業(株) (有)苅部建設 (有)高橋建設 都建設工業(有)
 (株)アラ川 (株)菊池組 (有)中山産業 横関建設(株)

事務所/下妻市宗道86-3 電話0296-43-1377

下妻市建設業会

- | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|---------------|-----------|-----------|------------|-------------|-------------|
| 会長 塚山 篠古 | 副会長 飯村 建 | 幹事 初端 鈴根 | 初端 鈴木 | 真孝 木忠 | 一男 茂志 | 〔初端建設(株)〕 | 〔初端工務店(株)〕 | 〔鈴木鉄工建設(株)〕 | 〔鈴木根本工業(株)〕 |
| 田本 島澤 | 宗理 真 | 隆一 男人 | 〔塚田建材(株)〕 | 〔塚田下妻建設工業(株)〕 | 〔常総機材(株)〕 | 〔塚田建設(株)〕 | 〔茨城支店(株)〕 | 〔下妻建設(株)〕 | 〔常総機材(株)〕 |
| 佐田 建設 | 常総 建設 | 常総 建設 | 〔常総機材(株)〕 | 〔常総機材(株)〕 | 〔常総機材(株)〕 | 〔常総機材(株)〕 | 〔常総機材(株)〕 | 〔常総機材(株)〕 | 〔常総機材(株)〕 |
- 〔常総機材(株)〕 〔常総機材(株)〕 〔常総機材(株)〕 〔常総機材(株)〕 〔常総機材(株)〕 〔常総機材(株)〕 〔常総機材(株)〕 〔常総機材(株)〕 〔常総機材(株)〕 〔常総機材(株)〕

事務所/下妻市比毛29 TEL 0296-43-6789